

科目名 Subject	描画技法 Art & Design		教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	△		◎		
科目の概要	対象物の形や構造、明暗を正確にとらえる方法を学び、描いた物と対象物を比較しながら根気強く描写することにより、目と脳と手の総合的なトレーニングを行います。				
授業の目標	物体や人体の形や明暗を、先入観にとらわれることなく客観的にとらえ表現する力を高めるとともに、常に全体を意識しながら部分とのプロポーションを見ることができるようになる。 また、実技を積み重ねることによって実力が高まっていくことを実感する。				
時間外学習 (予習・復習)	身近な物をモチーフにしてデッサンを行い、観察力と描写力を日常的に訓練してください。約2時間のデッサンを2週間に1枚程度行ってください。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	デッサン室			
	参考文献				
評価方法	技法の理解度20% 課題に取り組む姿勢50% 課題作品の完成度30%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意					
本科目履修と関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	静物デッサン	形の基本となる幾何形体の構造や遠近感を捉える力を養う。	
第 2 回	静物デッサン	形の基本となる幾何形体の構造や遠近感を捉える力を養う。	
第 3 回	石膏デッサン①	顔の形、パーツ、体との関係、立体感、明暗などを総合的に捉える方法を確認する。	
第 4 回	石膏デッサン①	顔の形、パーツ、体との関係、立体感、明暗などを総合的に捉える方法を確認する。	
第 5 回	石膏デッサン②	形や明暗などを総合的に捉え表現出来るようになる。	
第 6 回	石膏デッサン②	形や明暗などを総合的に捉え表現出来るようになる。	
第 7 回	細密描写	物をしっかりと観察し、明暗や色を精密に描くことで、写実的な表現が出来るようになる。	
第 8 回	細密描写	物をしっかりと観察し、明暗や色を精密に描くことで、写実的な表現が出来るようになる。	
第 9 回	人物クロッキー	人物の形や動きを短い時間でとらえ、表現する力を身につける。	
第 10 回	人物クロッキー	人物の形や動きを短い時間でとらえ、表現する力を身につける。	
第 11 回	スクラッチ画①	物体の明暗を、黒い画面を削って表現する方法を知る。	
第 12 回	スクラッチ画①	物体の明暗を、黒い画面を削って表現する方法を知る。	
第 13 回	スクラッチ画②	黒い画面を削って表現することにより、面と光の関係を知り表現の幅を広げる。	
第 14 回	スクラッチ画②	黒い画面を削って表現することにより、面と光の関係を知り表現の幅を広げる。	
第 15 回	講評会	互いの作品について批評し合うことで、見る力、伝える力を養う。	